



FREE GUIDE

CARPORT SNOW DAMAGE CHECK SHEET IN SAPPORO

札幌のカーポート 雪害「損しない」チェックシート (潰れる前の判断・火災保険)



ひと晩でカーポートの屋根が真っ白。「この重みで潰れないか」と不安ですね。

札幌で家の困りごとの相談窓口を営む私たちが、
あわてて損をしないための「判断」と「保険・業者選び」をまとめました。

＼ この資料で分かる3つ ／

- 1 雪で「潰れる前のサイン」と、「何cmで雪下ろし」の目安（深さでなく“重さ”で決まる）
- 2 火災保険でカーポート・車庫が直せるかの分かれ目（災害か経年劣化か）と「保険で0円」勧誘のワナ
- 3 修理・撤去の費用相場早見表＋「どの業種に頼む？」の使い分け＋悪質業者を見抜く質問



無料

印刷して、チェックにお使いいただけます

INTRODUCTION

雪の朝、まず 「登らない・重さで判断」だけ。

ひと晩でカーポートの屋根が真っ白。「この重みで潰れないか」と不安になりますよね。でも、あわてて屋根に登ってはいけません。まず、いちばん大事な順番だけ。①**屋根には登らない・下に車を置かない** ②「何cmか」でなく「その雪が重いか」で下ろすか決める ③もう変形・傾いているなら、下ろさず業者へ。「無理をしない」が最初の鉄則です。

1

屋根に登らない・下に車を置かない 人が乗る設計ではありません

カーポートの屋根は**人が乗る前提でつくられていません**。登っての雪下ろしは踏み抜き・転落の危険。すでに変形・倒壊したカーポートの下に、車を止め続けしないでください。

2

「何cm」でなく「重さ」で判断 耐積雪の表示は新雪基準

耐積雪の表示（例：20cm）は、**降りたての軽い雪＝新雪を前提にした値**。同じ深さでも数日たって締まった雪・凍った雪は重さがまるで違い、表示に届く前に限界を超えます。

3

変形・傾きがあれば下ろさず業者へ 無理をしない

すでに**たわみ・傾き・きしむ音**があるなら、自分で雪を下ろそうとせず、車を出して業者へ。雪下ろし作業中の事故は毎年多発しています（次ページ）。

札幌の家の困りごと相談窓口

くらしの味方 開拓札幌 代表 成田 風輝

カーポートの耐積雪の表示（例：20cm）は、**降りたての軽い雪＝新雪を前提にした値**です。同じ深さでも、数日たって締まった雪・凍った雪では重さがまるで違い、**表示に届く前に限界を超えます**。



雪質で「下ろす目安」はこう変わる メーカー公式・日本雪氷学会の分類による

新雪＝表示どおりが目安。締まった雪＝表示の約6割で危険域。凍った・粗目雪＝表示の半分以下でも危険。「まだ表示に届いていないから大丈夫」と思っても、締まった雪・凍った雪なら早めに危険域に入ります。



札幌はどれくらい積もる？ 気象庁 札幌の平年値

年間の降雪量の合計は**約479cm**、最も積もった深さは**約97cm**。月別の最深積雪は12月47cm・1月76cm・2月95cm・3月82cm。**耐積雪20cm設計の一般的なカーポートは、冬に何度も下ろす前提**と考えるのが安全です。

やってはいけないこと（逆効果）

屋根に登る／お湯・水をかける（再凍結してもっと重くなる）／融雪剤をまく（サビの原因）／一人で作業する。雪下ろし等の事故は多雪の年で全国 年1,000件以上・100人以上が亡くなり、死亡の約8割が65歳以上です（国土交通省）。

これは危険信号 | 「潰れる前兆」5つのサイン 1つでも当てはまったら、雪を下ろす＋点検を。無理そうなら車を出して業者へ。 ☐ 屋根がたわんで真ん中が下がってきた ☐ 「パキパキ」ときしむ音がする ☐ 支柱の付け根にひび・サビ・変形がある ☐ 全体が斜めに傾いてきた ☐ シャッター・物置の扉の開け閉めが急にしにくくなった

「雪で壊れたカーポート、火災保険は使えないの？」——答えは「**原因しだい**」。ここを知っておくと、悪質な勧誘にもだまされにくくなります。



使える可能性 雪災・風災と認められたとき

持ち家の火災保険は、建物本体だけでなく**カーポート・車庫・物置**といった付属設備も「**建物**」の補償対象に含まれるのが一般的（各損保会社の公式説明）。**大雪や雪の重みで屋根・柱が壊れた（雪災）／強風でパネルが飛んだ・変形した（風災）**など、突発的な災害でこわれたと認められれば対象になり得ます。



使えない 経年劣化・サビが原因のとき

長年の使用による劣化、サビ、少しずつ進んだ変形は**対象外**とされるのが一般的。「雪が原因か、寿命か」は保険会社が判断します。

迷ったら、この順番が安全

ひとこと

① 片付け・修理の前に、被害を写真で記録する

申請の証拠になります

② 契約中の損害保険会社に自分で連絡する

対象か・手続きを確認

③ 信頼できる地元業者に見てもらい、正直に申請

うその理由での請求は厳禁

知っておきたい2つの注意 ○多くの契約は「**損害額が一定額（20万円など）以上**」でないと保険金が出ない方式（フランチャイズ方式）があります。○カーポートの下の**車が壊れた場合は、火災保険ではなく「車両保険」**の範囲です。

「火災保険を使えば自己負担0円で直せます」「申請を代行します」——雪の季節に増える勧誘です。日本損害保険協会も、この手の「保険金を使える」とうたう勧誘トラブルに注意を呼びかけています。

1

高額な手数料を取られていませんか？

悪質な申請代行では、**受け取った保険金の3～4割を手数料として請求される**報告があります。「0円で直せる」と言いながら、実際は保険金の多くが手数料に消えることも。

☐ 確認

2

解約できない・違約金を求められていませんか？

「解約できない」「違約金が発生する」と言われるトラブルが報告されています。契約前に、途中でやめられるか・その条件を必ず確認を。

☐ 確認

3

実際と違う理由で申請させられていませんか？

うその請求は、**依頼した本人が責任を問われるおそれ**があります。「経年劣化を雪害ということにしましょう」といった提案には乗らないでください。

☐ 確認

4

その場での「即決」を迫られていませんか？

札幌でとくに多いのが「**今すぐ契約すれば足場代が無料**」「**このままだと危ない**」と、その場で契約を迫る勧誘。大雪のあと、飛び込みで「点検します」と近づく手口もあります。

☐ 確認

まっとうな業者は、考える時間をくれ、相見積りを嫌がりません。その場での即決を求められたら、いったん立ち止まってください。※これらは「業者によっては、そういうやり方をする場合があります」というお話です。開拓札幌は特定の業者に肩入れせず、中立の立場でご案内します。

費用の相場早見表＋業種の使い分け

 PRICE GUIDE

札幌の業者が公開する料金例をもとにした**目安**です。北海道は耐雪部材のぶん本州より材料費が1～2割高いことがあります。正確な金額は現地の「見積り」でしか分かりません（**2026年時点。最新は各公式で要確認**）。

工事の内容	札幌の目安	ひとこと
ボルト増し締め・防錆	1～3万円	いちばん軽い修理
屋根パネル1～2枚の交換	2～6万円	部分的な破損の交換
屋根パネル全面交換	10～25万円	広い範囲が割れた場合
柱の修理・補強	5～20万円	曲がり・折れの補修
カーポート全体の建て替え	30～80万円	傷みが広い・倒壊した場合
車庫シャッターの 修理／交換	修理10～25万円 電動交換は25～70万円	シャッターは専門業者の領域
撤去する場合 （カーポート／物置）	2～3万円前後～ 物置の解体は1～8万円前後	廃材の自己搬入は札幌市210円／ 10kg（物置は大型ごみ扱い）

「どの業種に頼む？」の使い分け ○アルミ既製カーポートの部分修理・建て替え → **エクステリア（外構）業者** ○屋根・板金まわり、雨漏りを伴う → **板金・屋根業者** ○車庫のシャッター → **シャッター専門業者** ○撤去・解体だけ → **解体業者／外構業者**（廃材の産廃処理まで頼めるか確認）。※無許可の「**無料回収**」に廃材を渡さない（廃棄物処理法で禁止・積み込み後に高額請求の例）。症状に合う業種を選び、**2～3社の相見積り**で見立てが一致するか比べてください。



「これって下ろした方がいい？」 その写真1枚から、お聞かせください。

雪が積もったカーポートや、変形した柱・割れたパネルなど**気になる場所の写真**を1枚送るだけで大丈夫。「火災保険は使える？」「この見積り、妥当なの？」というご相談だけでも構いません。ご案内するのは、症状を見てから正直に説明してくれる**条件に合う1～2社**だけ。無理な営業はいたしません。

● LINEで無料相談する

LINE : lin.ee/YpRFf1p

※ まず「下ろすべき？」から

屋根には登らず、写真と症状から「これは下ろすべきか・業者を呼ぶべきか」をいっしょに整理します。



保険の線引きも中立に

「災害が原因か、経年劣化か」。火災保険が使えるのかの見当と、正しい申請の順番を中立にご案内します。



営業電話ラッシュなし

一括見積もりサイトのように何社もの営業電話が鳴ることはなく、ご案内は条件に合う1～2社だけです。



★ 札幌の中立の相談窓口

特定の工法・業者に肩入れせず、代表・成田が中立の立場でいっしょに考えます。ご相談は無料です。